

保温資材を用いた春出しヒマワリの無加温栽培

福島県農業総合センター浜地域研究所

1 部門名

花き－ヒマワリ－作型・栽培型

2 担当者

三田村敏正・斎藤幸平・渡邊仁司・常盤秀夫

3 要旨

浜通りの冬期間温暖で日照時間の多い気候を利用した春出しの新たな切り花品目として、ヒマワリは保温資材を用いることによって無加温で栽培することができる。

(1) 品種はビンセントオレンジが適しており、3月に採花できる播種時期は11月中旬である(表1)。

(2) 使用するハウスには農業用POの内カーテンを設置し、さらに保温資材として農業用ビニールを12月下旬から被覆するのが効果的である(表1)。

表1 春出しヒマワリの採花時期と切り花品質

品種	試験区	採花時期			採花率 (%)	切り花長 (cm)	花径 (cm)	茎径 (mm)	奇形花率 (%)
		始期	盛期	終期					
ビンセント オレンジ	農ビ12月保温	2月24日	3月3日	3月14日	92.5	85.1	8.4	7.1	29.7
	農ビ1月保温	2月24日	3月3日	3月14日	72.5	89.1	9.3	7.9	17.2
	PO12月保温	2月21日	3月3日	3月13日	67.5	86.1	8.0	7.0	22.2
	PO1月保温	2月24日	3月5日	3月14日	60.0	88.2	9.3	7.9	29.2
	無処理	3月3日	3月7日	3月14日	50.0	73.9	6.6	9.0	70.0
ビンセント クリア	農ビ12月保温	2月21日	2月26日	3月12日	87.5	53.4	7.2	4.6	60.0
	農ビ1月保温	2月21日	2月26日	3月12日	75.0	55.2	7.8	5.3	46.7
	PO12月保温	2月17日	2月21日	3月10日	65.0	60.3	8.3	5.4	30.8
	PO1月保温	2月17日	2月24日	3月13日	57.5	55.7	8.1	5.6	47.8
	無処理	2月17日	2月24日	3月12日	22.5	49.3	8.2	7.3	44.4

①播種は2013年11月15日に3粒播きを行った。

②使用したハウスは外張りと内カーテンに農業用POを使用し、内カーテンは12月1日から被覆した。

③保温資材による三重被覆開始は12月保温が12月20日、1月保温が1月20日とした。農ビは農業用ビニール、POは農業用PO、無処理は内カーテンのみ。

④奇形花率は花弁のごくわずかな奇形についてもカウントして算出した。

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成23年度～26年度
- (2) 研究課題名 浜通り気象条件下における花きの生産振興支援技術開発(切り花の冬春出し栽培技術の確立)
- (3) 参考となる成果の区分 (終了参考)

5 主な参考文献・資料